

2015年 9月 7日

中谷 元 防衛大臣 殿
深沢 英一郎 百里基地司令 殿

百里基地での日米共同訓練の即時中止を求めます。

地元自治体は、「防衛省は9月7日（月）～9月18日（金）まで、航空自衛隊百里基地で、タイプⅡの日米共同訓練（戦闘機戦闘訓練）がある」としています。タイプⅡ訓練とは6～12機の戦闘機が、8～14日程度実施する訓練です。米軍は、岩国基地から第12海兵航空群が移動し、F A 1 8、5機程度、人員80名程度とし、人員、物資輸送のために輸送機が飛来予定としています。自衛隊側から、航空自衛隊百里第7航空団、入間航空警戒管制団のF-15戦闘機4機程度、F-4戦闘機が4機程度参加するとし戦闘機戦闘訓練空域は、百里沖空域としています。

日米共同訓練は、日本の防衛とは異質であり、「専守防衛」を踏み超えるものです。国会で論議されている安保法案＝戦争法案を先取りし、アメリカの専制攻撃に自衛隊を引きずりこみ、集団的自衛権行使を準備するものです。日米共同訓練の実施そのものがアジアに緊張をもたらします。訓練は即刻中止すべきです。

百里基地を使用する「日米共同訓練」では、地元町民をはじめとする多くの県民が、治安の悪化、事故の発生、騒音の拡大等の不安を募らせています。日米共同訓練により、特に安全に関わる地元負担が今まで以上に増大します。このような事態は到底容認できません。

また地元住民は従来から「騒音を減らしてほしい」と要望しています。今でさえも騒音はひどいもので「耳が壊れてしまう」といっても過言ではありません。小美玉市も市議会と一体で同様の要望書を何度も提出しています。しかし実際は無視され続けています。今回の日米共同訓練は騒音と事故の危険性をさらに増大させます。地元負担また県民負担がこれ以上増大する事態は納得できません。訓練は絶対にやめて下さい。

さらに訓練中、万が一にも墜落や落下物の事故等がおきた場合、被害を受けるのは私たちです。私たちは日本国民です。事故発生時に「地位協定で、米軍が調査することになる」などは全く納得できません。日本で対応すべきことです。

今回の日米共同訓練に際し下記を要望します。誠実で迅速な対応をお願いします。

記

1. 日米共同訓練を、即時中止にしてください。

百里基地反対同盟	茨城県労働組合総連合
新日本婦人の会茨城県本部	農民運動茨城県連合会
茨城県商工団体連合会	茨城革新懇
茨城県平和委員会	原水爆禁止茨城県協議会
茨城県高等学校教職員組合	
日本民主青年同盟茨城県委員会	
日本共産党茨城県委員会	